

グリーンムーバー

～安全，快適な乗降と

車内移動ができる路面電車～

交通渋滞，環境問題などの観点から，路面電車を中心とした交通システムの再評価が高まる中，導入されたグリーンムーバーは，誰もが乗降・車内移動が楽に行える配慮がなされています。

グリーンムーバー（超低床式電車）

・路面電車の近代化

市民の足として長年親しまれ，広島市の街の象徴でもある路面電車に，グリーンムーバーが導入されたのは1999年6月からで，この超低床車両「グリーンムーバー5000形」は，ドイツ・シーメンス社製の「コンビーノ」をベースに，広島という都市での使用を考慮して，独自のデザインを試みた次世代のLRV（ライト・レール・ビートル；輸送力・高速性増，低床などを図った新型路面電車）です。

グリーンムーバーが広島市の街を走ることによって，新しい都市景観を生み出しています。



・ユニバーサルデザインへの配慮点

従来車両の床下にあった機器類を，天井に配置して低床化を行ったため，ホームとの段差がほとんどなくなり，車軸を持たない台車により車内の段差を解消しているため，車いす使用者や高齢者ばかりでなく，ベビーカーや大きな荷物を持った乗客など，誰にとっても乗り降りが楽に行えるほか，車内の移動もスムーズに行えるようになっています。さらに，弾性車輪の装着により，低振動・低騒音化が図られているため，快適な乗り心地となっています。

また，車両本体だけでなく，運行区間では電停と電車の隙間をせまくする工事が行われるなどの配慮がなされています。



左右1箇所ずつの乗降口には，補助スロープが装備されており，必要なときに開いて使用します。



車内2箇所に車いす・ベビーカーの優先スペースが確保されています。



ホームとの段差がほとんどなく、出入口扉が拡大されたため、乗降がよりスムーズになりました。



道路から電停までの移動も、スロープを整備して楽に行えるようになっています。



グリーンムーバーmax (新型超低床電車)

国産初の完全超低床車両となるグリーンムーバーmax (5100形)は、グリーンムーバーの利用者の要望を取り入れ改善し、快適性・信頼性・利便性を追及した車両です。

平成17年3月30日から営業運転が開始され、主に広島市内に順次導入される予定です。



・特徴

<p>通路幅の拡大</p>	<p>グリーンムーバーの台車部の通路幅830mmに対して、グリーンムーバーmaxは、先頭台車部880mm、中間台車部1120mmとしたことにより、車内の通行性が向上し車いすやベビーカー等の移動がよりスムーズになりました。</p>	
<p>座席数の増大</p>	<p>今回開発したグリーンムーバーmaxは、中間台車を改良してロングシートを増やすなどの方法により、前回導入したグリーンムーバーより座席数が10席多くなっています。</p>	
<p>信頼性とメンテナンス性の向上</p>	<p>ほとんどの部品が国産品であり、迅速な対応・供給を目指しています。</p>	

【連絡先等】

問い合わせ先) 広島電鉄株式会社

所在地) 〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9番29号

TEL) 082-242-3521